

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【公開番号】特開2006-167129(P2006-167129A)

【公開日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【年通号数】公開・登録公報2006-025

【出願番号】特願2004-363503(P2004-363503)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F	13/02	3 8 0
A 6 1 F	13/02	3 1 0 D
A 6 1 F	13/02	3 1 0 M
A 6 1 F	13/02	3 1 0 T

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月6日(2007.12.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

上面及び底面を有する柔軟性の基材と、

該基材の底面の少なくとも一部分を被覆する粘着剤層と、

該粘着剤層の表面を被覆し剥離可能な粘着剤保護層と、

前記基材を貼付する際に、該基材のしわ発生を防止する該基材の上面に仮着された支持体と、

を備える貼付材であつて、

前記支持体は、前記基材の縁に沿って基材の外側へ突出する突出部を有し、この突出部が切り込みによって分割され複数の把持部が形成されていることを特徴とする貼付材。

【請求項2】

支持体の突出部に設けられた切り込みが、線状であることを特徴とする請求項1記載の貼付材。

【請求項3】

支持体の突出部に設けられた切り込みが、多角形、曲面、又は多角形と曲面とを組み合わせた形状であることを特徴とする請求項1記載の貼付材。

【請求項4】

基材が略長方形に形成され、前記支持体の突出部に設けられた線状の切り込みと、前記基材の縁とでなす角度が、40～130度であることを特徴とする請求項2記載の貼付材。

。

【請求項5】

基材が略長方形に形成され、前記支持体の突出部に設けられた切り込みは、さらに、前記基材の縁に対して平行な第2の線状の切り込みを有することを特徴とする請求項1～4項のいずれか1項に記載の貼付材。

【請求項6】

上面及び底面を有する柔軟性の基材と、

該基材の底面の少なくとも一部分を被覆する粘着剤層と、

該粘着剤層の表面を被覆し剥離可能な粘着剤保護層と、

前記基材を貼付する際に、該基材のしわ発生を防止する該基材の上面に仮着された支持体と、

を備える貼付材であって、

前記支持体は、前記基材の縁に沿って基材の外側へ突出する突出部を有し、この突出部が線状の切り込みによって分割され複数の把持部が形成されるとともに、

前記線状の切り込みは、隣接するこれらの線同士の間隔が5～50mmの範囲となるように形成されていることを特徴とする貼付材。

【請求項7】

上面及び底面を有する柔軟性の基材と、

該基材の底面の少なくとも一部分を被覆する粘着剤層と、

該粘着剤層の表面を被覆し剥離可能な粘着剤保護層と、

前記基材を貼付する際に、該基材のしわ発生を防止する該基材の上面に仮着された支持体と、

を備える貼付材であって、

前記支持体は、前記基材の縁に沿って基材の外側へ突出する突出部を有し、この突出部が面積をもつ形状からなる切り込みによって分割され複数の把持部が形成されるとともに、

前記面積をもつ形状からなる切り込みは、隣接するこれらの形状の中心部分の間隔が5～50mmの範囲となるように形成されていることを特徴とする貼付材。

【請求項8】

上面及び底面を有する柔軟性の基材と、

該基材の底面の少なくとも一部分を被覆する粘着剤層と、

該粘着剤層の表面を被覆し剥離可能な粘着剤保護層と、

前記基材を貼付する際に、該基材のしわ発生を防止する該基材の上面に仮着された支持体と、

を備える貼付材であって、

前記基材は、縦方向と横方向とを有し、

前記支持体は、前記基材の縦方向辺縁に沿って基材の外側に延長された複数の把持部を有していることを特徴とする貼付材。

【請求項9】

上面及び底面を有する柔軟性の基材と、

該基材の底面の少なくとも一部分を被覆する粘着剤層と、

該粘着剤層の表面を被覆し剥離可能な粘着剤保護層と、

前記基材を貼付する際に、該基材のしわ発生を防止する該基材の上面に仮着された支持体と、

を備える貼付材であって、

前記基材は、縦方向と横方向とを有し、前記縦方向は連続して形成され、

前記支持体は、前記基材の縦方向辺縁に沿って基材の外側に延長されるとともに、前記延長された部分に切り込みを設けることにより複数の把持部が形成されていることを特徴とする貼付材。

【請求項10】

貼付材が縦方向に連続し、ロール形状に形成されていることを特徴とする請求項9記載の貼付材。

【請求項11】

粘着保護剤層が複数の分割線によって分割可能に形成されていることを特徴とする請求項1～10項のいずれか1項に記載の貼付材。

【請求項12】

上面及び底面を有する柔軟性の基材と、

該基材の底面の少なくとも一部分を被覆する粘着剤層と、

前記基材を貼付する際に、該基材のしわ発生を防止する該基材の上面に仮着された支持体

と、

を備える貼付材であって、

前記基材は、縦方向と横方向とを有し、

前記支持体は、前記基材の縦方向辺縁に沿って基材の外側に延長された複数の把持部を有し、前記粘着剤層が支持体の基材側と反対側に剥離可能に仮着され、ロール形状に形成されていることを特徴とする貼付材。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また、本発明の前記課題は、下記請求項6ないし12の発明のようにして達成することもできる。即ち、上面及び底面を有する柔軟性の基材と、該基材の底面の少なくとも一部分を被覆する粘着剤層と、該粘着剤層の表面を被覆し剥離可能な粘着剤保護層と、前記基材を貼付する際に、該基材のしわ発生を防止する該基材の上面に仮着された支持体と、を備える貼付材であって、前記支持体は、前記基材の縁に沿って基材の外側へ突出する突出部を有し、この突出部が線状の切り込みによって分割され複数の把持部が形成されるとともに、前記線状の切り込みは、隣接するこれらの線同士の間隔が5～50mmの範囲となるように形成されているものとする（請求項6）。また、上面及び底面を有する柔軟性の基材と、該基材の底面の少なくとも一部分を被覆する粘着剤層と、該粘着剤層の表面を被覆し剥離可能な粘着剤保護層と、前記基材を貼付する際に、該基材のしわ発生を防止する該基材の上面に仮着された支持体と、を備える貼付材であって、前記支持体は、前記基材の縁に沿って基材の外側へ突出する突出部を有し、この突出部が面積をもつ形状からなる切り込みによって分割され複数の把持部が形成されるとともに、前記面積をもつ形状からなる切り込みは、隣接するこれらの形状の中心部分の間隔が5～50mmの範囲となるように形成されているものとする（請求項7）。さらに、上面及び底面を有する柔軟性の基材と、該基材の底面の少なくとも一部分を被覆する粘着剤層と、該粘着剤層の表面を被覆し剥離可能な粘着剤保護層と、前記基材を貼付する際に、該基材のしわ発生を防止する該基材の上面に仮着された支持体と、を備える貼付材であって、前記基材は、縦方向と横方向とを有し、前記支持体は、前記基材の縦方向辺縁に沿って基材の外側に延長された複数の把持部を有するものとする（請求項8）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、上面及び底面を有する柔軟性の基材と、該基材の底面の少なくとも一部分を被覆する粘着剤層と、該粘着剤層の表面を被覆し剥離可能な粘着剤保護層と、前記基材を貼付する際に、該基材のしわ発生を防止する該基材の上面に仮着された支持体と、を備える貼付材であって、前記基材は、縦方向と横方向とを有し、前記縦方向は連続して形成され、前記支持体は、前記基材の縦方向辺縁に沿って基材の外側に延長されるとともに、前記延長された部分に切り込みを設けることにより複数の把持部が形成されているものとする（請求項9）。さらに、前記請求項9に記載のものにおいて、貼付材が縦方向に連続し、ロール形状に形成されているものとする（請求項10）。また、前記請求項1ないし10のいずれか1項に記載のものにおいて、粘着保護剤層が複数の分割線によって分割可能に形成されているものとする（請求項11）。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

また、本発明の前記課題は、下記請求項1 2の発明によっても達成できる。即ち、上面及び底面を有する柔軟性の基材と、該基材の底面の少なくとも一部分を被覆する粘着剤層と、前記基材を貼付する際に、該基材のしわ発生を防止する該基材の上面に仮着された支持体と、を備える貼付材であって、前記基材は、縦方向と横方向とを有し、前記支持体は、前記基材の縦方向辺縁に沿って基材の外側に延長された複数の把持部を有し、前記粘着剤層が支持体の基材側と反対側に剥離可能に仮着され、ロール形状に形成されているものとする（請求項1 2）。この構成は、例えば、梱包用に用いられるロール状の粘着テープであって、粘着テープをロールから引き剥がした際に、保護層のない粘着剤層が表出する構成と類似しており、貼付材の使い勝手がより良好となる。